

Niel Karrow 先生による CFAI 特別セミナー（2回目）を実施しました。

令和5年11月29日(水)に、カナダゲルフ大学教授で、東北大学大学院農学研究科の客員教授でもある Niel Karrow 教授による CFAI 特別セミナー（2回目）を実施しました。Karrow 先生は、10月1日からの2か月間、東北大学大学院農学研究科に訪問滞在しており、特に動物の栄養免疫に関する教育・研究活動に励まれております。本講演では、「In vitro Assessment of Mycotoxin Toxicity and Mitigation」をテーマとし、これまでの研究成果をご講演頂きました。Mycotoxin は動物用飼料からもしばしば検出される、糸状菌が産生する有毒な二次代謝産物であり、動物の健康被害をもたらす要因にもなっています。Karrow 先生は、Mycotoxin が動物の腸管に暴露した際の影響評価に関する研究を長らく実施しており、今回、その成果をご紹介頂きました。今回の講演内容の多くは、昨年度に東北大学農学研究科に2か月間滞在した、Run Xu 博士（当時はゲルフ大学博士課程大学院生）が得た成果でもあり、学生交流の重要性も強調されました。

ゲルフ大学と東北大学大学院農学研究科は学術交流に関する部局間協定を締結しており、今後も、共同研究や学生交流を精力的に実施していく予定です。ゲルフ大学では、動物の免疫機能および栄養代謝に関する研究が盛んであり、CFAI が目指す、動物の免疫機能の賦活化することによる安心安全な動物生産を具現化すべく、東北大学大学院農学研究科として、ゲルフ大学との交流強化に努めていきます。

野地智法 （東北大学大学院農学研究科 食と農免疫国際教育研究センター）

